

図2：1970-1985年（破線）と1986-2002年（実線）における中国・韓国などの汚染地域を通過してきた気塊中のオゾン濃度の季節変化の比較（つくばと鹿児島上空2.5kmから4.5kmの平均）

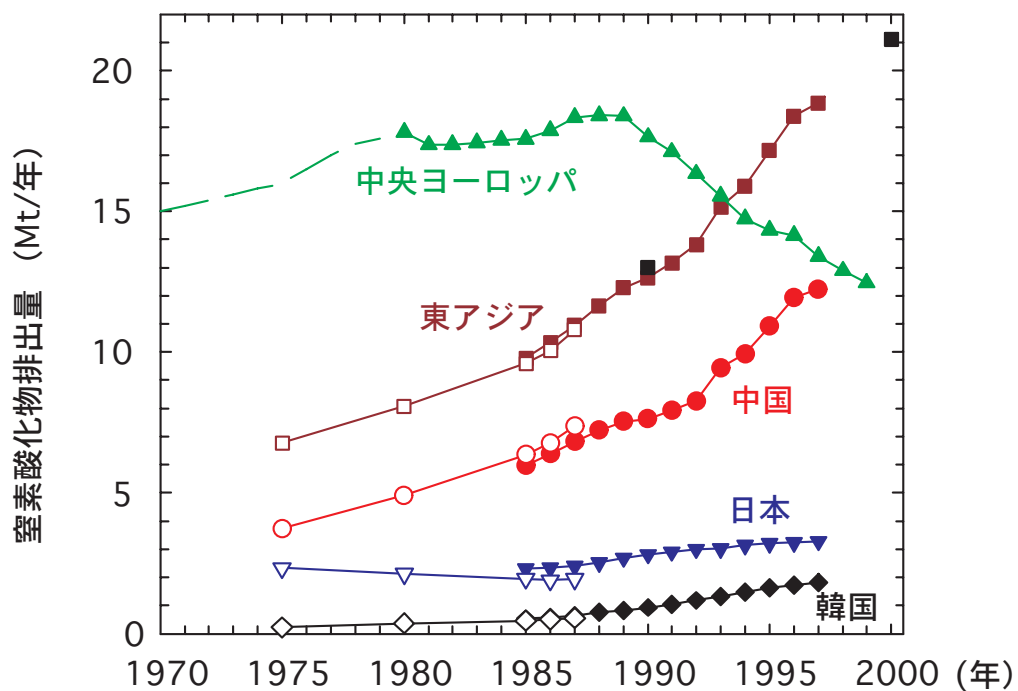


図3：1970-1997年の中央ヨーロッパ、東アジア、中国、日本及び韓国の窒素酸化物排出量の変化